

はたやブックレット8『海を渡った福井の羽二重』の発刊について

1. 概要

■「はたやブックレット」は、近代織物業の歴史を伝える当館のミュージアム機能としての調査研究・展示普及の成果(企画展、講演会、フォーラムなど)をまとめたものです。

2. はたやブックレット8『海を渡った福井の羽二重』について

■本書は、平成29年度に当館で行った企画展『海を渡った福井の羽二重—ヨーロッパ・アメリカの新しいファッションへ…。明治時代、NEW SILK「羽二重」登場！—』とまちづくり講座・はたやフォーラムの記録集です(400部印刷)。

■明治から大正時代に福井県で織られていた羽二重は、そのほとんどが横浜から海外へ輸出されていました。輸出先の国々では、羽二重をそのまま使っていたわけではなく、何かをつくるための原料であり、素材となるものでした。本書では、海外のファッションに使われた羽二重についてご紹介しました。

《本書の主な内容》

第1部 企画展

第2部 まちづくり講座

講演① 海を渡った福井羽二重—欧米社会の「ファッション=テキスタイル革命」のなかへ— 田村均氏(埼玉大学教育学部教授)

講演② 輸出羽二重の用途について—欧米ファッションとの関わりから— 三友晶子氏(東京家政大学博物館学芸員)

第3部 はたやフォーラム

織物のまちとその歴史の活用

■図書館・研究機関・博物館・関係企業などに配付する予定です。

■関係者配布後の残部については販売を行います。定価は、1冊800円(税込)で、当館お土産処「シルク」にて販売します。

3. 「はたやブックレット」シリーズのご紹介(当館編集・発行、以後続刊予定)

- ①織物のまち、桐生と勝山—輸出向け羽二重のルーツと桐生織りの魅力—平成24年刊
- ②発見! わが家の「はた織り」さん—白山周辺の手織機「地機」とその地域性—平成25年刊
- ③織子さんのくらしと学び—女子寮days in 勝山—平成26年刊
- ④世界へとどけ! 勝山シルク—勝山製糸会社と官営富岡製糸場—平成27年刊
- ⑤明治の勝山産業—煙草と生糸から羽二重へ—平成28年刊
- ⑥ミュージアムとまちづくり—地域の拠点・交流の場をめざして—平成29年刊
- ⑦近代の産業・インフラ・都市—近代化遺産とその保存・活用—平成30年刊
- ⑧海を渡った福井の羽二重—ヨーロッパ・アメリカの新しいファッションへ—平成31年刊

【お問い合わせ先】

勝山市産業・観光部商工観光課 はたや記念館振興グループ

はたや記念館ゆめおーれ勝山 担当: 松村 電話 0779-87-1200